PART II ―― EGB

＊前奏曲……279

第10章 ―― 記述のレベルとコンピュータ・システム 288

＊……とフーガの蟻法 312

第11章 ―― 脳と思考 337

＊英仏独日組曲 366

第12章 ―― 心と思考 370

＊アリアとさまざまの変奏 392

第13章 ―― ブーとフーとグー 406

＊G線上のアリア 429

第14章 ―― 形式的に決的不可能なTNTと関連するシステムの命題 436

＊誕生日のカンターターター……456

第15章 ―― システムからの脱出 460

＊パイプ愛好家の教訓的思索 475

第16章 ―― 自己言及と自己増殖 490

＊マニフィ蟹ト、ほんまニ調 540

第17章 ―― チャーチ、チューリング、タルスキ、その他 550

＊SHRDLUよ、人の巧みの慰みよ 575

第18章 ―― 人工知能＝回顧 583

＊コントラファクトウス 622

第19章 ―― 人工知能＝展望 632

＊樹懶のカノン 670

第20章 ―― 不思議の環、あるいはもつれた階層 673

＊六声のリチェルカーレ 710

訳者あとがき・著者紹介 743

参考文献 757

索引 766

装丁・井上敏雄

目次

この本は、章と章の間にアキレスと亀による対話劇がはいります。対話劇（＊）はそれぞれ、どことなくバッハの作品を思わせるように趣向が凝らされています。

GEB概要 10

PART I ―― GEB

序論 ―― 音楽＝論理学の捧げもの 19
＊三声の創意（インヴェンション） 46

第1章 ―― MUパズル 50
＊二声の創意（インヴェンション） 59

第2章 ―― 数学における意味と形 63
＊無伴走アキレスのためのソナタ 77

第3章 ―― 図と地 80
＊洒落対法題 91

第4章 ―― 無矛盾性、完全性、および幾何学 98
＊小さな和声の迷路 118

第5章 ―― 再帰的構造と再帰的過程 141
＊音程拡大によるカノン 166

第6章 ―― 意味の所在 171
＊半音階色の幻想曲、そしてフーガ演争 190

第7章 ―― 命題計算 194
＊蟹のカノン 210

第8章 ―― 字形的数論 214
＊無の捧げもの 238

第9章 ―― 無門とゲーデル 251